

平城宮いざない館の開館

平城宮いざない館は、国土交通省が朱雀門前に建設を進めてきた平城宮跡歴史公園のガイダンス施設です。奈良文化財研究所では、2009年度より、その展示室4「時をこえて」について協力をおこなってきました。そして2018年3月24日、平城宮跡歴史公園の開園式典を迎え、いざない館もオープンしました。開館後は、大変多くの方々に来館していただき、展示室4もすこぶる好評です。

「時をこえて」は3つの部屋で構成されており、Ⅰ「都の造営」、Ⅱ「平城京」、Ⅲ「平城宮」というテーマで展示をおこなっています。一般に混同されがちな平城宮と平城京の、両者の違いや実像等を、部屋を分けることでよりわかりやすく紹介しています。また、専門的な内容を広く一般の方にお伝えするために、難しい専門用語を使わず、復元画家の早川和子さんのイラストも多用しています。

展示品は、約600点にのぼります。その多くが、奈文研の発掘調査で出土したものとそのレプリカです。また、市内の寺院や奈良市教育委員会からの借用品もあります。そのため、これらを維持管理していくには、専門的な知識を備えた奈文研の関与が必須といえます。そこで、奈文研では、展示室4での学芸業務を受託することになりました。

平城宮跡解説ボランティアに案内解説の協力を得て、奈文研の調査研究成果の展示公開の場という位置づけとなった平城宮跡資料館と役割分担をしながら、平城宮跡を舞台とした展示活動をおこなっていきたいと考えています。

(企画調整部 加藤 真二)



展示室4「時をこえて」